



食卓からの国際協力

第29回枚方ぞうすいの会

# マングローブ植林ワークに参加して



日時：2015年 3月 1日（日） 14:00～16:00

会場：枚方公園青少年センター料理室 ※裏面に地図有（枚方公園駅下車 徒歩5分）

スピーカー：笠谷 正博さん（寝屋川市在住 JAFS会員）

参加費：700円 会員・学生 500円

定員：25名

笠谷さんは、アジア協会アジア友の会主催のフィリピン・マングローブ植林ワークに参加されました。フィリピン・ルソン島南端にあるソルソゴン州の漁村で出会った村人との交流、漁村が直面している温暖化による自然破壊、貧困からの脱却に向けての取り組み、植林の様子などを話していただきます。多数のご参加をお待ちしています。

\*準備の都合上2月27日(金)までに下記宛お申し込みください。



アジアの人々と共に・井戸を贈って**36**年

**公益社団法人 アジア協会アジア友の会（JAFS）**

大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5F(担当:熱田)

TEL:06-6664-0587 FAX:06-6444-0581

Eメール:asia@jafs.or.jp HP:http://www.jafs.jp

JAFS枚方地区会 TEL & FAX 072-861-6273(天野)

# 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

渴くアジアと世界に水き！



アジアと世界に井戸を贈る運動

水、それは生きていく上で欠かせないもの。アジアの多くの地域では、その水が手に入らなかったり清潔でなかったりして生命が脅かされる人々の生活があります。アジアの村の大部分を占める貧困層の人々は、いまだに飲料水を含む生活用水を不衛生な川や池の水に頼っているのです。

毎日の水汲みは、女性や子どもたちの仕事です。大きな水がめをかかえながら、時には数キロもの距離を一日に何度も往復します。一日のほとんどの時間が水汲みにとられ、教育を受ける時間すらないのが現状です。

今、わたしたちにできることは？ 安全な水(井戸)を贈ることで、水が原因の病気は減り、女性や子どもたちは水汲みの重労働から解放されます。そして、水汲みしか見えなかった人たちに明るい未来を贈ることができるようになります。

アジア協会アジア友の会(JAFS)は、飲料水の欠乏が深刻なアジアに安全な水(井戸)を贈る運動として1979年に活動を始めた国際民間協力団体(NGO)です。

現在、アジア 18ヶ国 64ヶ所の現地提携団体と協力し、安全な水(井戸)の供給をはじめ、植林、教育などを通してアジアの村の自立を支援しています。

## 現在までの協力実績 (2014. 3. 31 現在)

井戸建設	1,723 基
学校	106 校舎
里子	788 人
植林	約 246 万本
簡易トイレ	2,367 基
その他、保健衛生・生活自立支援・緊急災害支援等を行う	

## 第 29 回 JAFS 枚方ぞうすいの会参加申込書



枚方公園青少年センター

京阪枚方公園駅下車徒歩約 5 分  
1F は公設市場サンパーク

お名前	
ご住所	〒
電話	
E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は本イベントのためにのみ利用します。



FAX : 072-861-6273 (天野)